

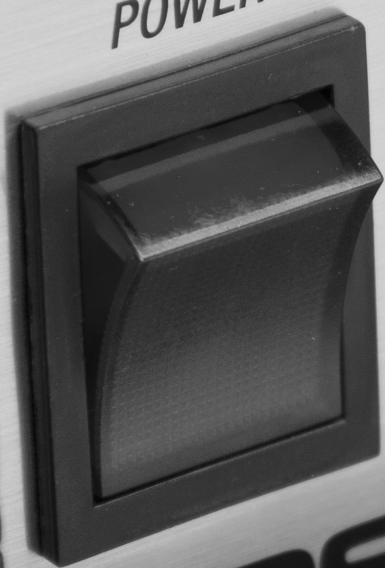
DSL100HR & DSL40CR



OWNER'S MANUAL

Marshall

POWER



OUTPUT



LOW

STB

HIGH

DSL¹⁰⁰

はじめに

Marshall Dual Super Lead(DSL)をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

DSLシリーズは表現力豊かな、伝統的マーシャルサウンドを提供します。

クリーンからハイゲインオーバードライブまでスイッチ一つで切り替えられるDSL100/40は、望みどおりのサウンドを簡単な操作で得られる多彩なオールバルブ(真空管)アンプです。

DSLシリーズは伝統的なSuper Leadアンプを髣髴させるトーンだけでなく、エフェクトループ、パワーリダクション、スタジオクオリティのデジタルリバーブなど多様な機能を備えています。

このDSL100/40はコンパクトサイズで真空管アンプの豊かな音色を楽しめるよう設計されています。フルパワーでのステージパフォーマンスは勿論、パワーリダクション機能を活用してのスタジオワークや自宅練習用にも適しています。

皆さんが、DSLシリーズを楽しんでいただけることを心から祈っています。

- Marshall チーム一同

DSL 100/40 の概要

DSL 100ヘッドとDSL 40 コンボは、同じ機能を備えています。コンボタイプには、12 インチ G-12Vタイプスピーカーを搭載しています。

DSLはフットスイッチでの切り替えも可能なCLASSIC GAIN(クラシック・ゲイン)とULTRA GAIN(ウルトラ・ゲイン)の2つのチャンネルを備えています。

CLASSIC GAIN(クラシック・ゲイン)チャンネルでは輝くようなクリーンから名機JCM800のようなクランチサウンドまで、ULTRA GAIN(ウルトラ・ゲイン)チャンネルでは更にハイゲインでアグレッシブなディストーションサウンドが楽しめます。

DSLは各チャンネル共通のパッシブ3バンドEQ(ベース、ミドル、トレブル)を備えています。更に中音域のニュアンスを変えるトーン・シフト機能も搭載しており、この機能をハイゲイン設定と組み合わせると、現代的なメタル系サウンドへと変貌します。

DSL100/40は高品質なデジタルリバーブやエフェクトループも備えています。またLOW POWER機能により、小音量でも豊かな真空管サウンドをお楽しみいただけます。

外部MIDI機器と接続してDSLアンプの一部機能の操作も可能です。

警告!安全上の重要事項

警告:

電源は必ず交流100Vを使用してください。

商品に対するご相談はご購入店にご相談下さい。

電源入力とヒューズ:

アンプの定格電圧はリアパネルに記載されています。

付属の電源コードをアンプ裏面のMAINS INPUT(16)に接続してください。ヒューズの定格はリアパネルに記載されています。

絶対に定格以外のヒューズを使用しないでください。

アンプを運ぶ際の注意点:

機器の電源を切った上、電源ケーブルや全ての接続ケーブルを外し移動/運搬を行ってください

重要なセットアップ情報:

1. 外部のスピーカーキャビネットと組み合わせて使用する場合は、正しいインピーダンスのスピーカーキャビネットが接続されていることを確認してください。詳細についてはリアパネル機能のLOUDSPEAKER(22)の説明を参照してください。

警告

正しく接続を行わないとアンプ及び、他機器の破損の原因になります。

スピーカーキャビネットの接続には専用のケーブルをご使用ください。

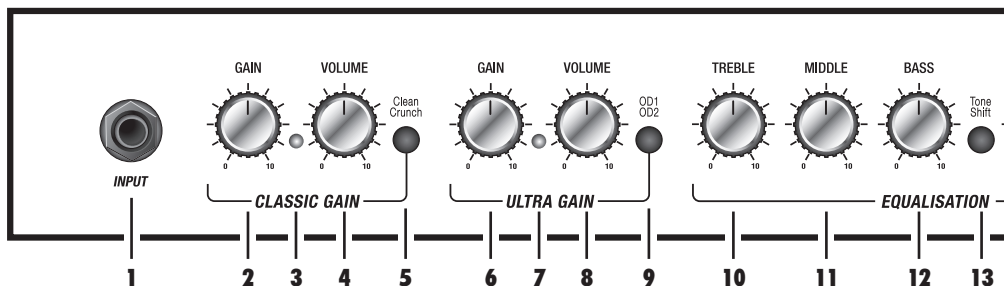
スピーカーキャビネットの接続にギター用のシールドケーブルは絶対に使わないでください。

2. POWERスイッチ(15)がOFF(オフ)になっていることを確認してください。
3. OUTPUTスイッチ(14)がSTANDBY(スタンバイ)になっていることを確認してください。
4. 最初に電源コードをMAINS INPUT(16)に接続し、次にコンセントに接続します。
5. フロントパネルのコントロールが全てゼロになっていることを確認してください。
6. ギターをフロントパネルのINPUT(1)に接続して下さい。
7. POWERスイッチをONに切り替え、数分間待って下さい。その後、OUTPUT switch(出力スイッチ)をLOW(低出力)またはHIGH(高出力)に設定して下さい。
8. 選択したチャンネルの音量をお好みの程度まであげれば演奏可能な状態になります。

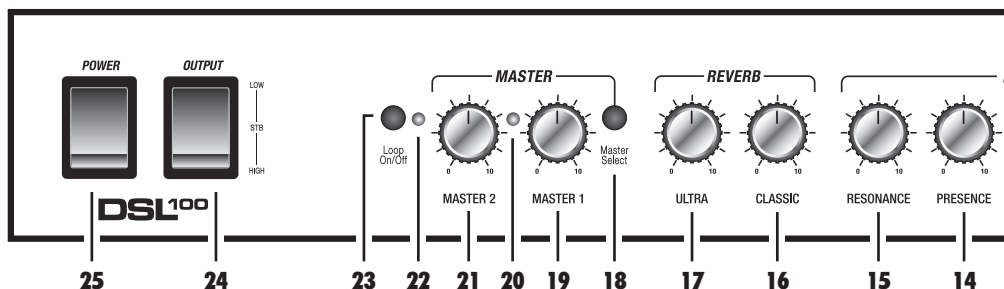
ご使用前にこの取扱説明書を良くお読みください。
全ての注意書きに従い、警告を守ってください。
この取扱説明書は保存してください。

フロントパネルの機能

DSL40CR フロントパネル



DSL100HR フロントパネル



1. INPUT

ギター用ケーブルを使用して楽器を接続します。

2. GAIN

CLASSIC GAINチャンネルの入力ゲインを調節します。

3. MODE STATUS LED

クリーンモード時には緑色LEDが点灯します。
クランチモード時には赤色LEDが点灯します。

4. VOLUME

CLASSIC GAINチャンネルの音量を調節します。

5. CLEAN/CRUNCH

クリーン/クランチモードを切り替えます。

6. GAIN

ULTRA GAINチャンネルでのゲインを調節します。
設定を上げるほど強いディストーションが得られます。

7. MODE STATUS LED

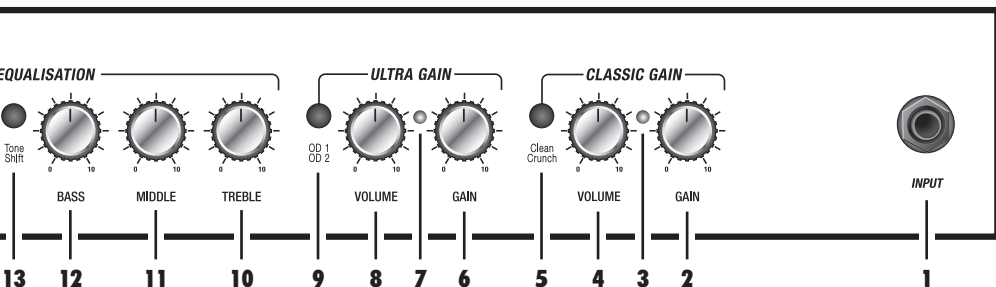
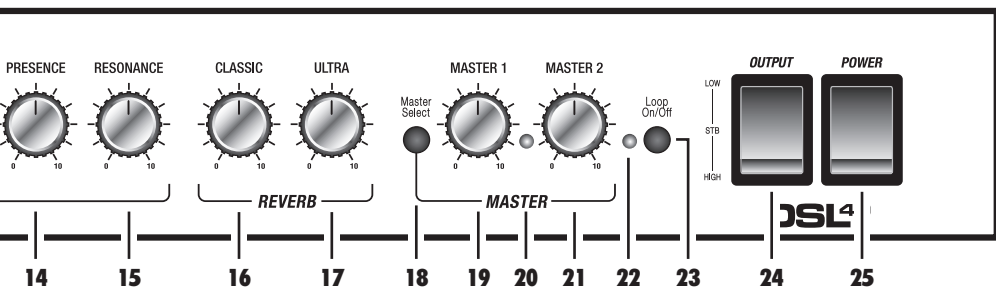
OD1モード時には緑色LEDが点灯します。
OD2モード時には赤色LEDが点灯します。

8. VOLUME

ULTRA GAINチャンネルの音量を調節します。

9. OD1/OD2

OD1/OD2モードを切り替えます。



EQUALISATION SECTION

10. TREBLE

高音域の出力を調節し、サウンドに明るさと切れ味を加えます。

11. MIDDLE

中音域の出力を調節し、サウンドの厚みを調節します。トーンシフト(13)と組み合わせればより強調されます。

12. BASS

低音域の出力を調節し、サウンドに深みと温かみを加えます。

13. TONE SHIFT

プリアンプEQのミッドレンジ部分を再構築し、全体的なサウンドのニュアンスを変えます。

14. PRESENCE

パワーアンプ部でサウンド全体の超高周波帯域を調節します。

15. RESONANCE

パワーアンプ部でサウンド全体の超低周波帯域を調節します。

REVERB SECTION

16. REVERB CLASSIC

CLASSIC GAINチャンネルのリバーブを調節します。

17. REVERB ULTRA

ULTRA GAINチャンネルのリバーブを調節します。

フロントパネル機能 (続き)

MASTER VOLUME SECTION

18. MASTER SELECT

MASTER1/MASTER2を切り替えます。

19. MASTER 1

MASTER1選択時の音量を調節します。

20. MASTER STATUS LED

MASTER1選択時には緑色LEDが点灯します。

MASTER2選択時には赤色LEDが点灯します。

21. MASTER 2

MASTER2選択時の音量を調節します。

22. LOOP STATUS LED

エフェクトループがONの時にLEDが点灯します。

23. LOOP ON/OFF

エフェクトループをON/OFFします。

Note: 付属の2-Wayフットスイッチ、もしくは別売りの6-Wayフットスイッチでも切り替えが可能です。

24. OUTPUT

この3点ロッカースイッチはSTB (スタンバイ) と出力レベル選択機能を併設しています。

HIGH:

DSL100HR→100W出力の高出力設定です。

DSL40CR→40W出力の高出力設定です。

STB (standby):

このモードはPOWERスイッチ (フロントパネル機能#25) と併せて使用します。OUTPUTがSTANDBYになっていることを確認してからPOWERをONにして、数分待ってからOUTPUTをHIGHかLOWにスイッチします。スタンバイモードは、休憩中に真空管の負担を軽減するためのミュート機能としても使用します。

LOW:

DSL100HR→50W出力の低出力設定です。

DSL40CR→20W出力の低出力設定です。

25. POWER

アンプの電源ON/OFFスイッチです。

DSL フットスイッチ

DSL100HR および DSL40CR には、チャンネル切り替えおよび FX LOOP の ON/OFF 用の 2-Wayフットスイッチ (PEDL-90012) が付属しています。

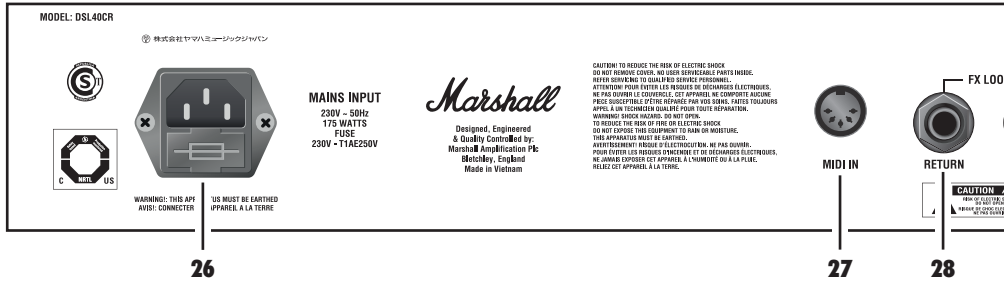
また演奏中に更に多くの機能をコントロール可能な別売りの6-Wayフットスイッチ (PEDL-91016) もございます。

このフットスイッチでは

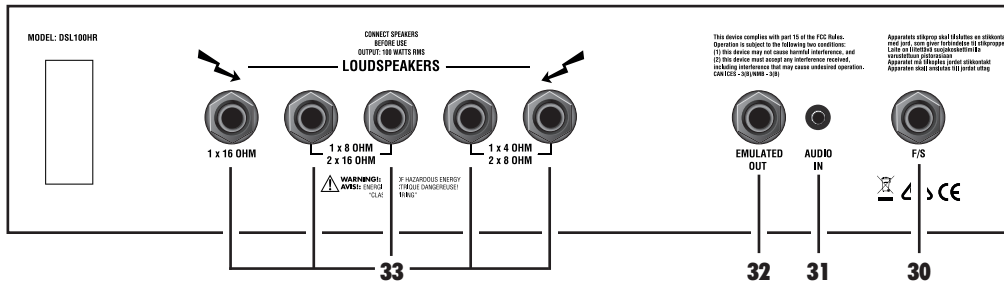
- CLEAN、CRUNCH、OD1、OD2の切り替え
 - MASTER1、MASTER2の切り替え
 - FX LOOPのON/OFF
- が可能です。

リアパネルの機能

DSL40CR リアパネル



DSL100HR リアパネル



26. MAINS INPUT

付属の電源コードを接続します。
注意: 電源入力カソケット内にはヒューズ・ボックスがあります。
電源ヒューズの規格はリアパネルに記載されているものをお使いください。
ヒューズ・ボックスを開くときは必ずアンプのスイッチを切りコンセントから外してください。
ご不明な点をご購入の販売店にご相談ください。

27. MIDI IN

外部MIDI機器を接続します。
Note: 当製品は入力データを受信するだけでMIDIのコマンドを送信はできません。

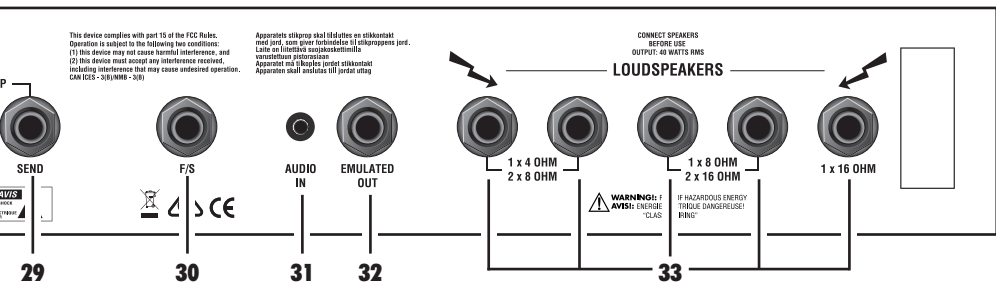
MIDIメッセージでチャンネルやエフェクトループ、マスターの設定ができ、またMIDIコマンドでフロントパネル機能のいくつかも操作可能です。(詳しくはマニュアルの

MIDIチャート一覧をご覧ください。)

工場出荷時のMIDI受信チャンネルは「1」に設定されています。
別のチャンネルを設定するには、LOOP (フロントパネル機能#23) を押したままアンプの電源を入れ、MIDI待機モード状態にします。
有効なMIDIコマンドが受信されるまでLEDが点滅します。
MIDI受信チャンネルはコマンドから設定したチャンネルに設定されます。

MIDI OMNI受信を選択するには、まずアンプをMIDI待機モードにしてMaster Selectスイッチ(#18)をLEDが点灯するまで長押しします。

Note: 2-Wayフットスイッチが接続されている状態ではMIDIメッセージは受信できません。



28. FX LOOP RETURN

エフェクトループを使う場合、外部エフェクターのアウトプットに接続します。

29. FX LOOP SEND

エフェクトループを使う場合、外部エフェクターのインプットに接続します。

30. F/S

付属の2-Wayフットスイッチ (PEDL-90012) または別売りの6-Wayフットスイッチ (PEDL-91016)を接続します。

31. AUDIO IN

3.5mmジャックのケーブルでMP3プレーヤーなどを接続します。プレーヤーとアンプの音量を調節することで、お気に入りの曲やバックিংトラックと合わせて演奏できます。

32. EMULATED OUT

ミキサーなどの外部機器やヘッドホン接続時に適した周波数補正を施したライン出力です。DSLにはSoftube社が設計した高品位なキャビネットエミュレーション機能が搭載されています。

重要: EMULATED OUTを使う場合でもスピーカー接続(リアパネル機能#33)は外さないでください。

注意: EMULATED OUTを使用してサイレント・レコーディングをする場合は、OUTPUTスイッチをSTB(スタンバイ)に設定してください(フロントパネル機能#24)。

*EMULATED OUTの出力レベルは各チャンネルのVOLUMEで調節します。MASTER1、2およびPRESENCE、RESONANCEは動作しません。

リアパネルの機能(続き)

33. LOUDSPEAKERS

5つのスピーカー出力があり、各出力には適合する抵抗値が記載されています。

- 1 x 16 OHM: 16Ωのスピーカーキャビネットを1台接続します。
- 1 x 8 OHM or 2 x 16 OHM: 8Ωのスピーカーキャビネットを1台、または16Ωのスピーカーキャビネットを2台接続します。
- 1 x 4 OHM or 2 x 8 OHM: 4Ωのスピーカーキャビネットを1台、または8Ωのスピーカーキャビネットを2台接続します。

警告:DSLシリーズには5つのスピーカー出力がありますが、5台以上のスピーカーキャビネットの接続はできません。安全な組み合わせは1x16Ω、1x8Ω、2x16Ω、1x4Ω、2x8Ωのいずれかのみです。

この他の組み合わせによる使用はパワーアンプ部に負担をかけ、真空管または出力トランスの故障の原因となります。

DSL100HRとDSL40CRは必ずスピーカーを接続してご使用ください。

MIDI IMPLEMENTATION CHART

1. BASIC INFORMATION

MANUFACTURER: Marshall

MODEL: DSL 40 & DSL 100

VERSION: 1.1

FUNCTION	TRANSMITTED	RECOGNISED	REMARKS
MIDI Channels	N	Y (1-16)	Default receive channel 1
Note Numbers	N	N	
Program Change	N	Y (0-127)	Amp channels mapped to every four PC values
Bank Select Response		N	
Modes Supported:			
Mode 1: Omni-On, Poly		N	
Mode 2: Omni-On, Mono		N	
Mode 3: Omni-Off, Poly		N	
Mode 4: Omni-Off, Mono		N	
Multi Mode		N	
Note-On Velocity	N	N	
Note-Off Velocity	N	N	
Universal System Exclusive	N	N	
Manufacture System Exclusive	N	N	

2. MIDI TIMING AND SYNCHRONIZATION

FUNCTION	TRANSMITTED	RECOGNISED	REMARKS
MIDI Clock	N	N	

MIDI IMPELATION CHART CONTROL NUMBER INFORMATION

MANUFACTURER: Marshall

MODEL: DSL 40 & DSL 100

VERSION: 1.1

DATE: 24.08.17

FUNCTION	#	TRANSMITTED	RECOGNISED	REMARKS
	13	N	Y	LOOP 0 = Off 1 = On 2-127=Toggle State
	14	N	Y	Master 0 = Off 1 = On 2-127=Toggle State

MARSHALLLAMPS.COM



Marshall Amplification plc, Denbigh Road,
Bletchley, Milton Keynes, MK1 1DQ, England.
Telephone: +44 (0) 1908 375411 | Fax: +44 (0) 1908 376118
Registered in England. Registered Number: 805676

Whilst the information contained herein is correct at the time of publication, due to its policy of constant improvement and development, Marshall Amplification plc reserves the right to alter specifications without prior notice.

BOOK-90032